

老後2000万円問題① 金額の根拠



梅雨の時期は、気分が落ち込みやすいのかもしれない。黄金堂パーラーに来て、最近、老後が不安なんだよね」とつぶやいています。妻の円は「不安を解消するには、具体的に資金計画を考えるのがいいかもね」と話します。

初 しばらく前に「老後2000万円問題」って話題になったよね。とりあえず、老後資金として2000万円用意しようと思ってるよ。

黄金餅豊 老後にいくら必要かは人それぞれだよ。2019年に2000万円問題は話題になって、だいぶ金額が独り歩きした感じがある。2000万円という数字はあやふやなところがあるよ。円（どう）「あやふや」なんですか？

豊 まずざっくりした計算で2000万円という数字が出されているよ。2000万円問題は、19年に金融庁の金融審議会「市場ワーキング・グループ」の「高齢社会における資産形成・管理」という報告書で話題になった。報告書は「高齢夫婦無職世

月収支で計算、今は「1500万円」

黄金餅豊
(こがねもち・ゆたか、55)
カフェ「黄金堂パーラー」店主。元銀行員でファイナンシャルプランナー資格を保有。同居人はネコ

新佐円
(にいさ・まどか、44)
出産後に離職。パート勤務を経て、税理士事務所で一般事務の正社員に。夫の初が頼るしつかり者

新佐初
(にいさ・はじめ、49)
カフェの常連客。メーカーの総務部門の管理職。老後資金が今から心配。妻の円も驚く料理上手

帯の平均的な姿で見ると、毎月の赤字額は約5万円」としている。これを基に、この不足額が毎月発生する場合、「30年で約2000万円の取り崩しが必要になる」と記載されたんだ。

円 月5万円の赤字が30年分、約2000万円ですね。

豊 「毎月の赤字額は5万円」は17年の家計調査から来ている。具体的には「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦一組のみの無職世帯」の「実収入」から「実支出」を引いた額だよ。これは全国の約1550世帯の平均にすぎない。30年は、65歳から約30年生きる可能性を踏まえて、老後期間が長いケースを想定したんだらうね。

黄金堂でも「ケーキ2000円問題」ってあったでしょ。円 米粉を使ったイチゴのショートケーキが、クリスマス前にお米とイチゴのダブル値上げで2000円になるかもってみんなが震え上がった件ですね。

初 1000円なら払えそうだけど、2000円はやや厳しいって感じだからね。豊 2000万円問題もそんな感じだ。初 え、どんな感じ？

豊 野村アセットマネジメントの資産運用研究所「ニアフェロー」の角間和男さんは「2000万円という金額が多すぎず少な過ぎず、実感として受け入れやすい水準だったことが数字の独り歩きを加速したと考えられる」と話しているよ。

円 ほかにないまいって言う理由があるのですか？

豊 2000万円という金額は変動しているんだ。初 どういうこと？

豊 17年の家計調査で計算したら2000万円だったけど、同じ計算をして毎年20

00万円になるわけじゃない。18年以降、家計調査の数字がどうなったか見てみよう。

例えば新型コロナウイルス禍となった20年の実収入をみると、前後の年より2万円ほど増えている。これは、1人10万円の特別定額給付金の支給が影響している。一方の実支出は前年より1万円ほど減った。コロナ禍で外出制限などがあつたから「教養・娯楽」や「交際費」が減った。その結果、実収入と実支出の差は月1500円ほどで、30年分で見ると、55万円だ。

初 「老後55万円問題」か。55万円なら今もあるな。最近はどうなの？ 物価も上がっているし、赤字も増えているよ。

豊 そうだね。25年の実収入は約26万円、実支出は約30万円。支出は食料費などが増えている。赤字は約4万3000円。30年分換算では約1500万円だね。

円 老後1500万円問題ですか……。暮らし方次第でだいぶ変わりますね。豊 この数年は日本も持続的に物価が上昇して、インフ

レになってきた。今後は生活費が上がる方向で考えた方がいいかもしれないよね。インフレを考慮すると将来は老後4000万円問題になると指摘する声もあるよ。

初 不足、不足というけど、赤字の分はどうやって補っているんだろ？

豊 家計調査でみると、2000万円問題のもとになった月5万円の赤字は現預金や保険などで補われているかたちになっているよ。実は、報告書は、世帯主が65〜69歳の夫婦世帯が保有する金融資産額が平均で2000万円を超えているというデータも掲載している。角間さんは「毎月の収支が赤字だから資産が必要ではなく、実際は金融資産があるから取り崩しているのではないか」と話していた。

初 2000万円問題ってあれだけ騒がれたから、とりあえず2000万円用意しなきゃと思ってただけで、それは意味がなさそうだね。

豊 とりあえず2000万円って思うのは、ひきずられすぎかもしれないよ。自分の場合はいくら必要なのかを考えることが重要だね。

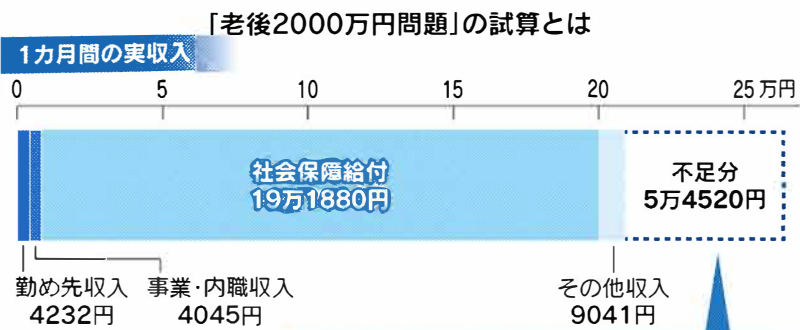
必要額、老後の希望を起点に



ファイナンシャルプランナー 高橋 成寿さん

はだいぶ変わります。資金計画は本来、老後に何をしたいかを起点に考えるべきだと思います。

「2000万円」には、介護の費用が含まれていない点にも注意が必要です。一般的には介護費用は1000万円程度かかるといわれます。介護が必要になったら施設に入りたいのか、できるだけ在宅で過ごしたいのかなど、事前に希望するかたちを考えると、必要額は変わります。自分の希望が明確になれば、いくら必要か数値化でき、実現の可能性を考えられます。必要額を考えるうえで最も重要なのは、今の生活費と資産の総額を、正確に把握することです。将来は今の生活の延長線上にあります。まずは物価上昇や運用利回りを考慮せず、現状のままお金を使い続けたりどうなるか計算してみよう。（聞き手は川本和佳）



毎月の赤字は約5万円、30年分で約2000万円に



(注) 総務省「家計調査年報(家計収支編)」(2017年)の「夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみ(無職世帯)」のデータを基に作成

